



Chartered April 11, 1998
THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Keiko Kashihara 4-16-23-402 Motoyama-nakamachi, Higashinada-ku, Kobe
 Mail : kashihara-k28@kxbiglobe.ne.jp Tel. 078-431-3511 〒658-0016 Japan
 URL : http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html

主 題

国際協会会長 Henry J. Grindheim (ノルウェー)
 「ともに、光の中を歩もう」 "Let Us Walk in the Light-Together"
 アジア太平洋地域会長 Tung Ming Hsiao (台湾)
 「ワイズ運動を尊重しよう」 "Respect Y's Movement"
 西日本区理事 大野 勉 (神戸ポートクラブ)
 2022年に向けて「心身の健康づくりからクラブの健康づくりへ」
 "Healthy mind & healthy body make healthy club"
 六甲部部长 杉本隆人 (神戸学園都市クラブ)
 「共感しあい、支えあおう」
 Empathy each other, Root Y's & YMCA
 芦屋クラブ会長 柏原佳子
 「賜物にしたがって」 "According to the gift"

今月の聖句

「・・・野の花がどのように育つのか、注意して見なさい・・・
 今日は生えていて、明日は炉に投げ込まれる野の草でさえ、
 神はこのように装ってくださる・・・」
 <マタイ福音書 6:28+30>

9月第1例会(メネット例会)

と き : 2017年9月20(水) 19:00~21:00
 と ころ : ホテル竹園芦屋
 司 会 : 羽太光子
 受 付 : 羽太英樹ワイズ・菅原順子メネット

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 開会点鐘 | 五十嵐かほるメネット会長 |
| 2. クラブソング斉唱 | 一同 |
| 3. 聖書朗読 | 羽太英樹ワイズ |
| 4. ゲスト・ビジター紹介 | 司会 |
| 5. 食前感謝 | 島田保子メネット |
| 6. 会食・懇談 | |
| 7. ゲストスピーチ | 達家彰子氏 |
| 「オープンガーデンの話」 | |
| 8. 事務報告 | 柏原佳子会長 |
| 各事業委員の報告 | クラブ事業委員 |
| 9. YMCA報告 | 柳原謙介連絡主事 |
| 10. ニコニコ献金報告 | 島田恒ワイズ |
| 11. 誕生日祝い | 柏原佳子会長 |
| 12. 閉会点鐘 | 五十嵐かほるメネット会長 |

会 長 柏原佳子
 直前会長 上野恭男
 副 会 長 桑野友子・堤 清
 書 記 上野恭男
 会 計 羽太英樹
 監 事 五十嵐政二
 連絡主事 柳原謙介
 六甲部Yサ・ユース主査 上野恭男

9

Sep., 2017
 243号

メネット月間

メネット会長 五十嵐かほる
 やっと酷暑から開放されて心地を取り戻した9月、メネット月間にはいります。

夏中 Y's のお役目に孤軍奮闘、汗を流して下さった諸兄弟も秋の爽やかな空気を胸いっぱい吸い込んで身もこころも潤して頂きたいものです。朝夕は涼風もたつようになり、秋の草花もすくすくと伸び、時には絡み合いながら、春とは一味ちがった素顔をみせてくれています。道すがら塀沿いに植えられた草花にいやされながらふと、立ち止まってしまうことさえあります。私宅の茶室でもすすきがオシロイバナを守るかのように少しずつ穂をひらきはじめています。



せっかく与えられたメネット月、何か女性的なイメージで例会をもちたいと、やさしい草花を思いうかべながらお庭づくりのお話をさせていただくことにいたしました。みなさまのお庭の草木やベランダの鉢植え、あらためて愛おしんで育てられるかもしれませんね。

8月例会出席表

第1例会出席者		例会出席率		BF切手
メンバー	15名	出席者	15名	累計 gm
ビジター	2名	メイクアップ	名	
ゲスト	1名	合 計	15名	
メネット	2名	在籍者	18名	ニコニコ
西宮クラブ	27名	(内広義会員1名)		7月 10,500 円
合 計	47名	出席率	88.2%	累計 35,100 円

8月芦屋・西宮クラブ合同納涼例会報告

日時：2017年8月16日(水)18:30~21:00

場所：ホテル竹園芦屋 (敬称略)

出席者：五十嵐政二、上野恭男、柏原佳子、桑野友子、篠坂幸彦、島田恒、菅原進、堤清、畠中光成、羽太英樹、福原吉孝、坂東幸子、中山豊美、大岩雅典、柳原謙介連絡主事、五十嵐かほる・菅原順子メネット

ビジター・ゲスト：大野勉、大野智恵、長竹孝夫

西宮クラブ：27名

今月は夏の納涼例会として西宮クラブと合同の開催となった。よく知り合っているメンバーも多く、ゲスト・出演バンドを含めると50名を越す参加の下、まるで一つのクラブであるかのような親しみあふれた例会となった。

開会点鐘は西宮クラブの石井会長、クラブソング斉唱、山口メン・羽太メンによる聖書朗読とメッセージと恒例通り続くなかで、芦屋クラブチャーターメンバーであった田舎メンの召天があらためて伝えられ一同で黙祷を捧げた。

今度はうれしいイベント、芦屋クラブへの新入会式が行われた。大岩雅典さん、働き盛りの活気をもった期待の入会。7月入会されたばかりの菅原進メンの紹介。菅原メンはEMC委員として早々の貢献で、大岩メンを含めこれからの芦屋クラブの活性化に期待。入会式は大野西日本区理事立ち合いの下、柏原会長が当たられた。

上野メンの食前感謝、万本メンの乾杯と続き、賑やかな会食・懇親のときが始まった。本日のエンターテインメントは、シャギーつつみ&フレンズによるカントリー演奏。演奏者の年代も似通っていて、懐かしい歌、聞きなれた歌が披露された。宴も進んで、西宮・芦屋クラブのメンバーによるカントリーダンスやソーシャルダンス、舞台上がって演奏に合わせて筒見リーダーとの共演ボーカルなどのパフォーマンス。司会者の立場も忘れがちに、自分も舞台に。65点であった音楽素養も顧みず「帰らざる河」を熱唱、踊りまで披露してしまった(汗)。でもメンバーの多くが参加的に宴を楽しんでいたのは、いつものことながらうれしい気持ちになった。

両クラブ会長による事務報告、事業委員報告、そしてYMCA報告は両クラブに馴染みの藤田連絡主事から行われた。締めくくりは柏原会長による閉会点鐘。開会・閉会点鐘は女性会長によるもので、あらためて女性の活力と潤いを感じつつ、芦屋クラブ伝統のテイクコク主義終了となった。福原首席司会者、都合による遅参のため、補欠司会者ながら登板し、楽しかった例会となったことを喜んでいる。ちなみに、芦屋クラブ主催20周年クリスマス例会には、西宮クラブメンバーから、早くもこの日に多くの参加申し込みをいただいたといううれしいニュースであった。

島田 恒

例会風景



ドリンクコーナーで例会前に



入会式を終えて、皆いい顔ですね！
大岩ワイズ おめでとうございます



芦屋・西宮両クラブ総勢47名での納涼例会



大野理事飛び込みで美声を披露



柏原佳子会長の閉会点鐘



畠中・大岩ワイズ固い握手



20周年記念礼会を全員でアピール

8月入会しました大岩雅典です

昭和34年4月2日千葉県市川市生まれ

私はサリドマイド胎芽病の疑いで、障がいとして生まれ両手の指が不自由です。見た目にも分かりますので、初対面の方は驚かれることもよくあります。ですが、現在は私自身そのことを現在はまったく気にしておりません

いろいろな場面でお知り合いになった方々、私が障害を気にしない姿勢を異口同音に評価くださいます。ですが過去には受け入れられないことも何度かあり、つらい思いをしたこともありました。そんな時教会の方々には、わけ隔たりなくいつでも暖かく接してくださり、都度生きる勇気となりました。

今は、子宝にも恵まれ仕事も順調で、家族全員幸せに暮らしております。

職業は、高校卒業と同時に、港湾運送業者に就職しもうすぐ定年となる今日まで、同じ会社でお世話になっております。結婚を機に音響の世界に目覚め、副業として妻の経営する音楽制作会社の、プレーンとして音楽の世界に、どっぷり浸っております。



定年後はこちらを本業とするため、定年後の就職活動として、音楽制作の営業に余暇を利用して、奔走しております

このたび、菅原進ワイズの勧めで、ワイズの仲間に入れていただくこととなりました。

YMCAの活動に積極的に参加するのは、初めてです。社会貢献については以前より大変興味があり、いつかは積極的に参加していきたいと思っておりましたので、これからは社会のためにいろいろ奉仕活動をやっていききたいと思います。

皆さま、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。 大岩雅典

六甲部(第1回)EMC事業委員会報告

2017年8月9日神戸市青少年会館に於いて、開催された。

出席者：大野 勉西日本区理事、三科仁昭EMC主任、杉本隆人六甲部部长、各クラブEMC担当者(芦屋クラブからは島田・菅原ワイズ)、ゲストとして菅原好紀(瀬戸山陰部 EMC 主査・姫路)計 17名

会議の目的：「六甲部の EMC の課題を探る」

① 六甲部の現状と問題点の共有

- ・会員数の減少傾向に歯止めがかからず、高齢化の進行により近い将来に存立が危ぶまれる
- ・会員増強を意図しても、若い世代(40~50才代)は時間的・経済的余裕がなくなっており有効な手立てが見つからない。
- ・YMCAの人材育成は“メンバーシップ・パイ・デザイン”を踏襲している。

② 「どうすればよいか」について意見交換

- ・ワイズを広く知ってもらうための講演会やイベントを六甲部 EMC 活動として行う。
- ・EMC 活動に目標を持つ。都市再生に挑んでいる明石市に新しいクラブを創る。

☆以上、今後も継続協議することを確認した。 菅原 進

六甲部地域奉仕・環境事業委員会報告

吉田由美西日本区事業主任、杉本隆人六甲部長も出席の中、7月31日、神戸YMCA会議室に於いて六甲部今年度第一回地域奉仕・環境事業委員会が開催され、芦屋クラブを代表して参加した。吉田主任、杉本部長の挨拶の後、大野智恵委員長の司会で、本年度の事業計画を中心に審議された。①ベルマークを集めて東日本大震災・熊本地震復興の継続支援をすることを確認し、各クラブでのマーク集めに協力を要請する。②「きらりと光るアート展」を年度中に開催する。③環境について学ぶ機会を持ちたく、卓話者を紹介して各クラブの例会で「環境」を取り上げていただきたい。④各クラブでの地域奉仕・環境事業の現状を報告し合った。芦屋からは、芦屋みどり福祉会への協力(チャリティーラン、献金支援、パザー)、芦屋さくらまつり出店、YMCA語学留学生との交流会を報告した。

羽太英樹

第12回キリスト教講座「サムエル記 上・下」

サムエル記は本来一つの長い物語でしたが、一つの巻物に収めるには長すぎたので、上下に分けられました。

文献学的にはヨシュア記から列王記に至る旧約聖書の中の歴史書とされている書簡の一つです。書簡名は冒頭の部分で預言者サムエルが重要な役割を果たしていることによっています。つまりイスラエル国家形態のそれまでの2000年間は、12の部族の緩やかな連合体であったとされ、必要な時には神様が選ぶ士師と呼ばれる指導者によって治められていました。しかしすぐ西の地中海に住む攻撃的なペリシテ人の軍事的脅威に晒されていたイスラエルは、新しい指導者の形、すなわち他の国々のような王を求めようになり、神様に選ばれた最後の士師サムエルと、最初の王サウルと、その臣下で次の王ダビデという3人の人物の生涯がこの書簡に描かれています。

王政は神様の民とされているイスラエルの人々の生活に大きな変化をもたらし、その変化の全てが良いものではないことを神様は知っておられたのですが、王を選んだ後も、神様に従う約束を守り続けるように神様はその民と王に思い起こさせます。しかしサウルは神様に従わなかったばかりか、新たに神様によってえられたダビデに取って代わられることを望まなかったし、そのダビデも王といえども神様に従わなければならないということを後に思い知らされます。

「サムエル記・下」で、この書簡の主人公であるダビデ王が、その王国の確立が神様の選びと共に、その摂理に基づくものとして意味付けられています。つまり自分の部下の妻バト・シェバと罪を犯し、しかもその夫の殺人を企てた事などその支配の動揺が、この偉大な王の人間的な弱さの結果として解釈されています。

文学としての完成度も高く、その波乱万丈の多くは、美術、音楽、文学、映画などにも取り上げられています。代表的なものに、ダビデとゴリアテの争いを素材とした「ドナテッロ」、ミケランジェロのダビデ像、レンブラントの「湯浴びするバト・シェバ」、ヘンデルの「サウル」やオネゲルの「ダビデ王」等が挙げられます。

権 甲植(続)

